

6000A 取扱説明書

audiolab

1:安全上・使用上の注意



正しく安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
すべての警告に注意を払ってください。
必ず手順に従ってください。
水の近くでは使用しないでください。
掃除する際は、必ず乾いた布をお使いください。
製造元の指示に従って設置してください。

次のような場所に置かないでください。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ずAC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んで使用してください。



ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

長時間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

もし雷が鳴り出したら、機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

何か機器に異常が生じた場合、お客様による修理などは危険ですでおやめください。安全を確認してから販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

※注意：これを無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定されます。
内容をよく理解し、操作手順にしるされていないことは決しておこなわないでください。

この機器を設置する際は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し離して置いてください。
ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。
次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにする
- ・押し入れ・AVラック以外の本箱など風通しの悪い場所に置いたりして使用する
- ・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

※警告：必ず付属の電源コードを使用してください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電池を使用するときは、極性表示に注意し、表示のとおり正しく入れてください。

指定以外の電池のご使用、また新しい電池と古い電池を混ぜてのご使用はおやめください。

また、電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。

※注意：間違えると電池の破損、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

※電源電圧：Audiolab 6000シリーズの電源電圧は、後部パネルに示されてます。もしこの電圧の値がお住いエリアの電圧と合っていない場合、販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

IECメインプラグを取りはずすと、後部パネルにあるメイン供給ヒューズが確認できます。もしヒューズに破損がある場合、交換をする前に、異常がある個所の原因を確認して下さい。

ヒューズの値は次のとおりです。
100-120V、T1.6AL 250V スローブロー

2:ご使用になる前に

お買い上げいただきありがとうございます。

6000Aは、初代8000Aから続くAudiolabインテグレートッドアンプの長い歴史の中で最も新しい製品です。最高品質のアナログ・デジタルオーディオ回路を搭載し、音楽再生に情熱を注ぐエンジニアによって設計されており、その性能を末永くお楽しみいただけることでしょう。

本機の性能を最大限発揮させるために、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

入力

- ・ アナログ入力 x 3
- ・ PHONO入力 x 1 (MM)
- ・ パワーアンプ入力 x 1
- ・ コアキシャルデジタル入力 x 2 (SPDIF)
- ・ オプチカルデジタル入力 x 2 (SPDIF)
- ・ Bluetooth (aptX)

出力

- ・ プリアンプ出力
- ・ ラウドスピーカー出力
- ・ ヘッドフォン出力

操作機能

- ・ Bluetooth (aptX)
- ・ DAC - ES9018K2M
- ・ 高性能MM用PHONO入力搭載
- ・ プリパワー部を分離したことで柔軟性を実現
- ・ 12Vトリガーによる接続機器の電源連携機能
- ・ オートスタンバイ機能

本体・付属品

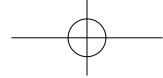
以下のものが同梱されているか確認してください。

- ・ Audiolab 6000A
- ・ 電源ケーブル
- ・ リモートコントローラー(単4電池は含まれません)
- ・ Bluetooth アンテナ
- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ 保証書

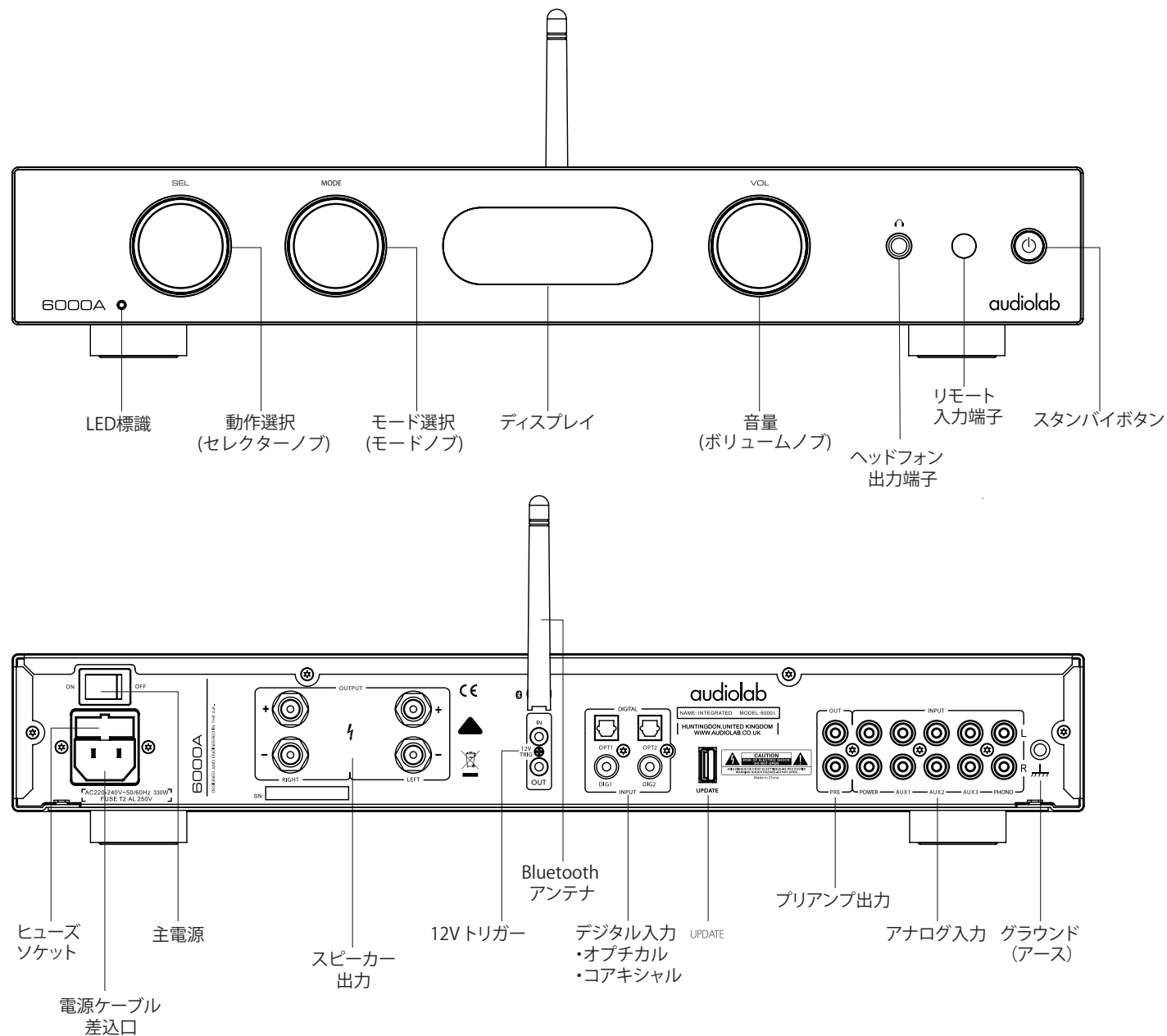
設置

本機を設置する際は、放熱をよくするために壁や他の機器との間は少し離して置いてください。また、ぐらついた台や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。

必ず付属の電源コードを使用し、AC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでください。もし本機後部パネルに表示されている電圧の値がお住まいエリアの電圧と異なる場合には販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

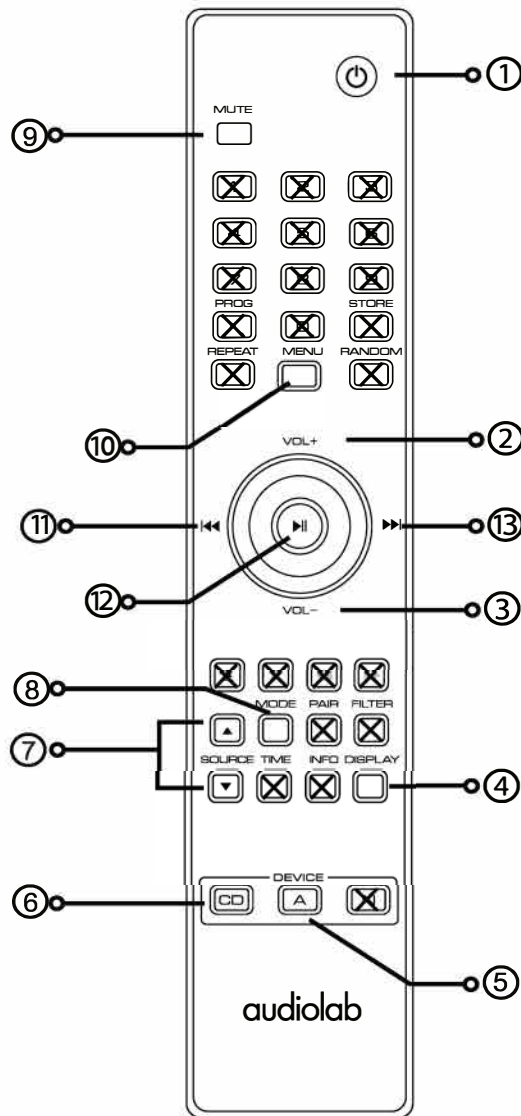


3:各部名称 正面・背面



4:リモコンの表示と機能

注意：×で表示されている箇所は、他のAudiolab製品で使用可能ボタンとなります。
本機ではご使用できません。



- 1 STANDBY 電源の on / off 切替
- 2 VOL+ 音量を大きくする
- 3 VOL- 音量を小さくする
- 4 DISPLAY ディスプレイ表示の on / off 切替
- 5 A 6000A(本機)操作モード※
- 6 CD 6000CDT操作モード
- 7 SOURCE 入力ソースの切替
- 8 MODE モード選択
- 9 MUTE 消音の on / off
- 10 MENU メニュー選択
- 11 ◀◀ 戻る
- 12 ▶▶ 再生 / 一時停止
- 13 ▶▶▶ 進む

※このリモコンは6000シリーズ共通です。
本機を操作する場合には[A]を押してください。

乾電池に関して

リモコンのご使用には、単4形乾電池×2本が必要です。
リモコン裏のフタを外しケース内の+/-表示に合わせて電池を設置しフタを閉めてご使用ください。

指定以外の電池のご使用、また新しい電池と古い電池を合わせてのご使用はおやめください。

電池は火の近くや暖房器具などの高温となる場所や直射日光は避けてください。

使用済み乾電池を廃棄する際には、お住いの地区の条例に従って廃棄してください。

注意：誤った方法での使用は電池の破損・液漏れにより火災や火傷などのケガや周囲を汚損する原因となります。

使用上の注意

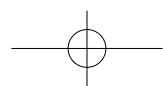
このリモコンで複数のAudiolab製品の操作が可能です。
左の図内で×と表示されている箇所は他のAudiolab製品で使用するため、6000A(本機)ではご使用できません。

リモコンをご使用の際にはリモコン先端を本体のリモコン受光部に向けて15メートル以内の距離で操作してください。

本体とリモコンの間に障害物を置かないでください。

本体のリモコン受光部に日光や照明があたるとリモコン操作ができない場合があります。その場合には本機の移動により解消されます。

リモコン操作による赤外線で、他の機器が誤作動をする事がありますのでご注意ください。



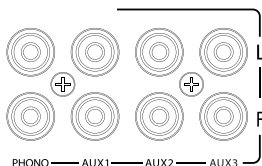
5:接続

アナログ入力

標準的なRCA入力を3系統装備しています。

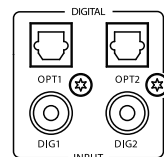
PHONO(フォノ)入力

ターンテーブル(MM)をPHONO入力に接続します。
ターンテーブルのアース線をグランド端子に接続してください。



コアキシャルデジタル入力 (SPDIF) オプチカルデジタル入力 (SPDIF)

同軸および光SPDIF入力を搭載しています。
適切なデジタル同軸インターコネクトまたは光ケーブルを対応機器に接続してください。



プリアンプ出力

パワーアンプ・サブウーファー・シグナルプロセッサーを
使用可能なプリアンプ出力

ラウドスピーカー出力

スピーカー用出力端子

ヘッドフォン出力

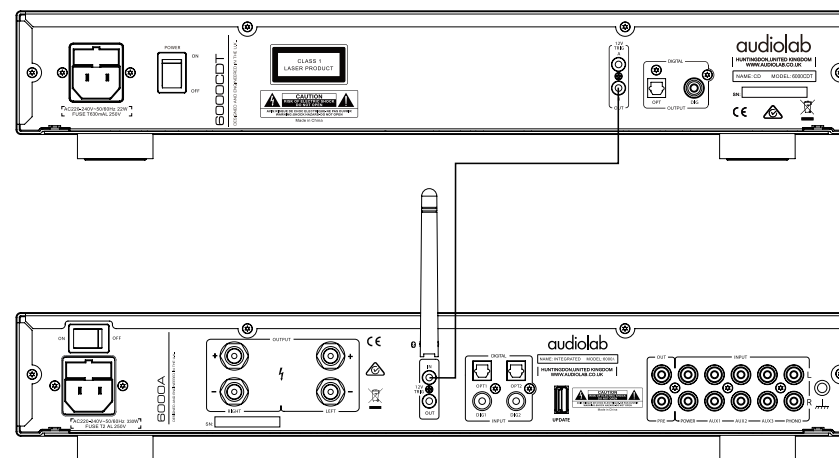
本体正面にヘッドフォン接続用の6.3mmステレオジャック搭載
ヘッドフォン接続時にはスピーカーへの音声出力は停止されます。

Bluetooth接続

6000A(本機)をBTに動作選択します。
次に接続端末より[Audiolab 6000A BT]を検索し接続します。
6000A(本機)の動作選択を他へ切り替えた場合には、
60秒後に端末との接続が切断されます。
再接続の場合には6000A(本機)をBT選択すると最後に接続されていた
端末と接続されます。または接続端末より[Audiolab 6000A BT]を選択ください。

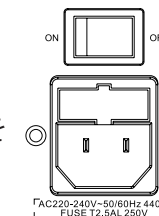
12V トリガー接続

6000A(本機)は、12Vトリガーを入出力しているのが特徴です。
入力は本機の制御、出力は他製品の制御に使用します。
トリガー接続には別売りの3.5mmジャック-3.5mmジャックの
ケーブルをご使用ください。



電源入力

6000A(本機)を主電源と接続する前にその他のシステムが
適切かつ確実に動作することをご確認ください。
また、本体背面の ON/OFF スイッチがOFFになっている事
をご確認後に付属の主電源ケーブルをAC電源コンセントに
接続してください。



6: 操作方法

電源のON/OFF

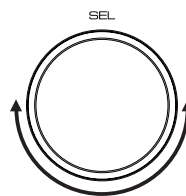
6000Aの電源をONにする前に接続した機器の電源をONにしてください。パワー(メイン)アンプを接続している場合は6000Aの電源をONにした後にパワー(メイン)アンプの電源をONにしてください。電源をOFFにする際は逆の手順でおこなってください。電源をONにすると、フロントのLEDがわずかに点灯します。

スタンバイモード

電源をONにするとスタンバイモードになります。スタンバイモードはフロントのスタンバイボタンを押す事で解除されます。この時LEDははっきりと点灯します。ボタンを押すとディスプレイに6000Aと表示されます。この表示が消えると操作が可能になります。本機にはオートスタンバイ機能があります。デフォルトでは20分に設定されており、20分間音声入力または操作がない場合は自動的にスタンバイモードになります。この設定はMENUから変更ができ、20分、1時間、オートスタンバイしないの中から選ぶことができます。

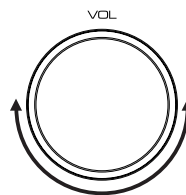
ソースセレクト

セレクターノブを使用し、任意の入力ソース(接続元)を選択できます。またこの操作は付属のリモコンでも行うことができます。



ボリュームコントロール

ボリュームノブやリモコンを使用し、音量を任意に調整できます。調整範囲は-78dB~+8dBです。デフォルトでは-20dBに設定されています。スタンバイモードから復帰する際には直前の音量設定で復旧しますが、直前の音量が-20dBより大きかった場合は-20dBで復旧します。



ミュート

ボリュームノブを押し込むとミュート(MUTE)されます。この操作は付属のリモコンでも行うことができます。

ディスプレイON/OFF

リモコンのDISPLAYボタンを押す事でフロントディスプレイの表示/非表示を設定できます。ディスプレイ非表示設定の時に本体、またはリモコンでなんらかの操作をした場合、ディスプレイには操作情報が表示されますが5秒後に再び非表示になります。

デジタルフィルター

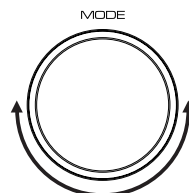
6000A内蔵のDACにはフィルターを搭載しており3種類の中から任意のものを選択できます。この操作はMENUから行います。また各フィルターの主な特徴は以下の通りです。

- FAST** fs/2以上で高速ロールオフする標準的なフラットレスポンス。
- SLOW** Fastフィルターより低い周波数でロールオフを開始するが、減衰の速度はより緩やか。
- PHASE** Slowフィルターに近い緩やかな減衰スロープで、位相特性は最小です。アナログフィルターのようなイメージ。

6: 操作方法-2

モード選択

6000Aはインテグレートッドアンプとしてはもちろん、プリアンプ、パワー(メイン)アンプとしても使用可能です。フロントパネルのMODEノブ、もしくはリモコンを使用して動作モードを切り替えられます。



各動作モードにおける入出力の有効・無効は下記の通りです。

MODE	POWER AMP IN	PRE OUT	HEADPHONE OUT	LOUDSPEAKERS
PRE	DISABLE	ACTIVE	ACTIVE	DISABLE
PRE-POWER	ACTIVE	ACTIVE	ACTIVE	ACTIVE
INTEGRATED	DISABLE	ACTIVE	ACTIVE	ACTIVE

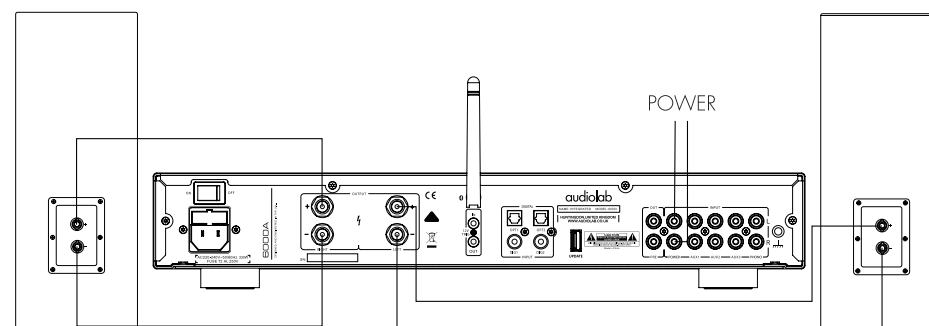
DISABLE=無効 ACTIVE=有効

Integrated mode インテグレートッド(プリ・メイン)モード

インテグレートッド(プリ・メイン)アンプとして動作させるモードです。プリアウトが有効ですので他のパワー(メイン)アンプと組み合わせる事でバイアンプシステムを構成する事もできます。

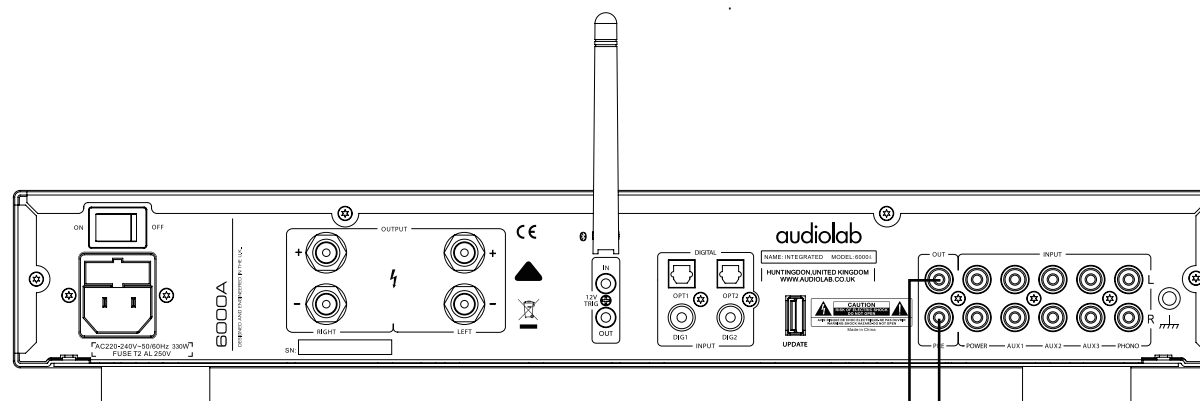
Pre-Power mode プリ・パワー(メイン)モード

プリアンプもしくはパワー(メイン)アンプとして動作させるモードです。インテグレートッドモードとは違いプリセクションとパワーセクションは**内部接続されていません**。独立したプリアンプとパワー(メイン)アンプが1つの筐体に収まっているイメージです。



Pre Mode プリモード

プリアンプとして動作させるモードです。一般的なプリアンプと同様に外部のパワー(メイン)アンプに出力して使用します。



外部パワー(メイン)アンプと接続

6: 操作方法-3

メニュー

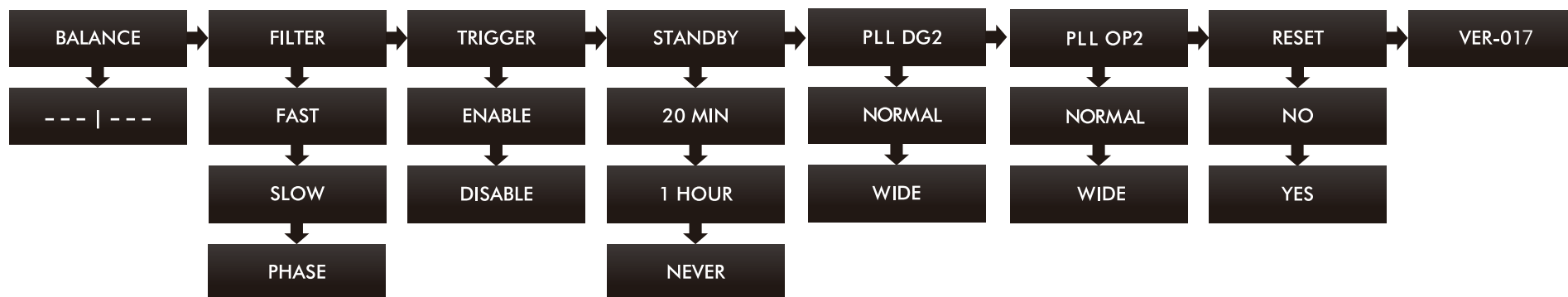
6000Aには8種の設定項目があり、機能のカスタマイズやインターフェースの最適化を行う事ができます。

リモコンのMENUボタンを押すとメニュー設定機能が立ち上がります。|◀◀もしくは▶▶|ボタンで設定項目を選択し、▶||ボタンで決定します。再度|◀◀もしくは▶▶|ボタンを押し機能・設定を選択後▶||ボタンで決定します。

本体で操作する場合はフロントパネルのMODEノブを使用します。MODEノブを押すとメニュー設定機能が立ち上がります。ノブを回し、設定項目の選択後ノブを押して決定します。再度ノブを回し、機能・設定を選択したらノブを押し決定します。

なお、メニュー設定機能は5秒間操作が行われなかった場合は終了します。

メニューツリー



7: 保証とアフターサービス

弊社製品及び取扱いブランドの商品において、修理や返品、返金など、金銭に関わる場合につきまして、弊社はユーザー様へ直接の対応を行うことができません。お手数をおかけしますが、保証規定をご確認の上、ご購入履歴（レシートや納品書など）と、保証書をご用意いただき、ご購入された販売店へご連絡いただけますようお願いいたします。弊社直販サイトご利用の場合は弊社へご連絡ください。※ご連絡なく弊社へお送りいただいた場合、対応する事ができません。

保証書について

この製品には保証書が添付されています。基本的にはお買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡しいたします。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

初期不良について

商品を購入後、初期不良が理由で商品を返品するためには、以下の条件を全て満たす必要があります。

- ① お客様が商品を購入してから1週間以内に販売店宛に連絡があること。
- ② 販売店もしくは販売代理店にて、初期不良と確認できた場合。
- ③ お買い上げ時の梱包材、箱、保証書を含む付属品に欠品がないこと。
- ④ 製品の交換、修理等の対応の最終的な判断は、弊社にて行うこと。

ただし次の場合は、初期不良による交換・返品はできません。

- ・ 納品書・領収書を紛失された場合。
- ・ お客様の誤った使用方法により傷、破損、汚損、あるいは故障が発生した場合。
- ・ 弊社が商品の内容や品質に問題がないと判断する商品。
- ・ 特別の事情がなく、ご連絡後速やかに商品が弊社に届かなかった場合。
- ・ お客様の一方的な都合による場合。

保証期間中の修理

正常なご使用状態のもとで万一故障が生じ、保証期間に該当する場合、弊社にて無償の修理を行います。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

※注意：保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。梱包箱を含めた付属品はアフターサービスの際に必要なになります。大切に保管してください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部品等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

※注意：すでに製品が完了している製品に関しては、部品等の供給も終了している場合があります。純正部品や代替部品による修理が不可能な場合や、本体の著しい破損/欠損の為に修理不能と判断した場合には、ご返却させていただく場合があります。

予めご了承ください。

依頼の際ご連絡いただきたい内容

- ・ お名前、ご住所、お電話番号
- ・ 製品名・・・取扱説明書の表紙に表示しています。
- ・ 製造番号・・・保証書と製品背面に表示しています。
- ・ 故障の状況（できるだけ詳しく）

送料について

往復共にお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

(但し初期不良の場合を除く)

並行輸入品について

弊社が正規輸入しました製品の補修用部品等は海外メーカーより、正規輸入品に対して供給されておりますので、日本正規総販売代理店製品の並行輸入品に関する修理、メンテナンス、及びアフターサービスにつきましては、一切受付けておりませんのでご注意ください。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に関して、当社の指定サービス機関以外による修理や改造が行われた場合は保証期間内であっても保証対象外となります。

8: 技術仕様

プリアンプセクション	
ゲイン (max.)	+8dB (ライン) +55dB (フォノ/MM)
入力感度	720mV (ライン/Volume = 0dB) 3.1mV(フォノ/MM, Volume = 0dB)
入力インピーダンス	10K(ライン) 47K//100pF (フォノ/MM)
全高調波歪 (THD)	<0.0004% (ライン, 1kHz @ 2V, Volume= 0dB)
周波数特性	20Hz-20kHz (+/-0.1dB)
出力電圧	2.3Vmax.(Volume = 0dB)
出力インピーダンス	120Ω
S/N比	>110dB(ライン, A-weighted) >76dB(フォノ/MM, A-weighted)

DAC	
DAC チップ	ES9018K2M
全高調波歪 (THD)	<0.0006%(1kHz @ 0dB Fs)
出力レベル (0dBFS, 1kHz)	2.05V
サンプリング周波数(最大)	192kHz
S/N比	>112dB(A-weighted)
デジタルフィルター	FAST / SLOW / MINIMUM PHASE

パワーアンプセクション	
ゲイン	+29dB
最大出力	2 x 50W(8Ω, THD<1%) 2 x 75W(4Ω, THD<1%)
周波数特性	20Hz-20kHz (+/-0.3dB)
入力感度	720mV
全高調波歪 (THD)	<0.003% (1kHz @ 40W/8Ω)
S/N比	>110dB(A-weighted)
最大出力電流	9A

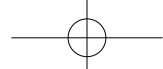
ヘッドフォン	
全高調波歪 (THD)	<0.01% (1kHz, 50mW)
出力インピーダンス	2.35Ω
ロードインピーダンス	20~600Ω

電力・電源	
スタンバイ時消費電力	<0.5W
電源	100V- 50 - 60Hz

その他	
外形寸法 (W x H x D / mm)	445 x 80 x 330
梱包サイズ (W x H x D /mm)	512 x 467 x 146
本体重量	7.8kg



本製品を廃棄する場合は各行政の指示に従い正しく行ってください。
適切に廃棄・処理することで環境や人体への危害の可能性を防ぐ事ができます。
材料資源の持続可能な再利用ため適切なリサイクル推進にご協力ください。



audiolab | **ESF** EASTERN
SOUND
FACTORY

